

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業
（免疫アレルギー疾患等政策研究事業（移植医療基盤整備研究分野）））
分担研究報告書

小児脳死下臓器提供における家族ケアに関する研究

研究分担者 別所 晶子 埼玉医科大学 医学部 助教

研究要旨：

小児の脳死下臓器提供に関わる家族の心理とその対応方法について、文献研究を行った。その結果、小児の脳死下臓器提供を決断する家族の心理的葛藤は大きく、子どもが救命救急センターに運ばれてきた直後から、死亡退院した後も、家族に対する心理的ケアが重要であることが明らかになった。

A. 研究目的

小児の脳死下臓器提供に関わる家族の心理とその対応方法について明らかにする。

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

B. 研究方法

Pub-medを利用し、「organ transplant」「brain death」「family care」「pediatric」をキーワードとして、小児の脳死下臓器提供に関わる家族の心理と対応について文献研究を行った。

（倫理面への配慮）
特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

- ・第121回日本小児科学会学術集会
 - ・第32回日本小児救急医学会学術集会
 - ・第37回日本心理臨床学会学術集会
- （発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

C. 研究結果

- ・脳死⇒臓器提供を経験した家族の心理と対応
 - ・臓器提供に際して家族が重視すること
 - ・臓器提供に際して家族が悩むこと
 - ・臓器提供を考える家族への対応
 - ・臓器提供の同意理由と家族の心理
 - ・臓器提供の拒否理由と家族の心理
 - ・決断後の家族の長期的悲嘆プロセス
 - ・他国の動向
- の8項目について明らかにした。

H. 知的財産権の出願・登録状況
（予定を含む。）

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

D. 考察

- ・小児の脳死下臓器提供を決断する前に家族は「子どもの死」を体験しなければならず、心理的葛藤は大きい。
- ・家族は医療者に対して共同決定を望んでいる。

E. 結論

子どもが救命救急センターに運ばれてきた直後から、脳死と診断され、臓器提供を決断し、臓器提供のプロセスが進み、死亡退院した後も、継続的に家族に対して情緒的サポートを提供することが重要である。

F. 健康危険情報